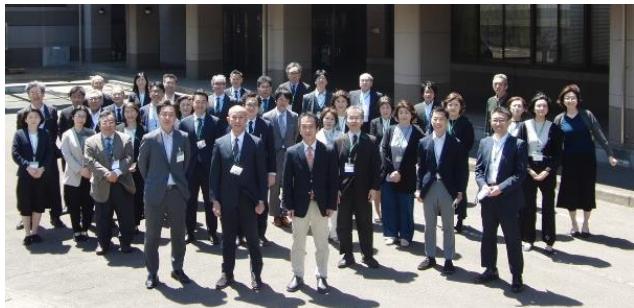


学び続ける教職員に寄り添う教育センター

所長 福田 元明



教育センター階段の踊り場に「私たちは学び続ける教職員を支えます」と掲示がありますが、お気付きでしょうか。研修冊子「センター研修 2023」のデザインは、仙台を表す伊達紫。花は子どもたち。前に出る子も控えめな子も、一人一人が願いを持って咲き誇ります。子どもたちの成長を支える教職員の研修が、受講者の皆様に実りあるものとなるようにとの願いを込めました。皆様をお迎えすることを心待ちしております。

昨年7月、教員免許更新制度が発展的に解消されました。スマートフォン等が急速に普及し始めた2007年頃から、社会の変化の速度が急激に加速し始めたと言われています。「十年一昔」と言いますが、変化が著しい現代においては、数年前のことさえ「一昔」になりつつあります。子どもの成長を担う教員には、その時代の背景や社会からの期待を踏まえ、学び続けることが求められていますが、更新講習が十年に一度では、もはや社会の変化に対応した力量向上に追いつかなくなっていました。これからは、教員は自らのニーズ、強みや弱み、学校の役割に応じた学びを主体的に進めるために、今後蓄積されていく「研修履歴」を参考しながら管理職等との対話を通して、自身の力量を適正に把握し、自分はどの分野の学びを深めて行くかを考え、目標を設定していきます。こうした意味で、教員免許更新制度は「発展的に解消」となりました。

ここで、「研修履歴」という聞き慣れない用語が出てきました。これは、昨年の「教育公務員特例法の一部を改正する法律」により、令和5年4月から教育委員会が作成する各教員の研修記録

仙台市教育センター 所報 第89号

令和5年5月15日発行

発行者 仙台市教育センター所長 福田 元明
〒983-0825 仙台市宮城野区鶴ヶ谷北一丁目19-1

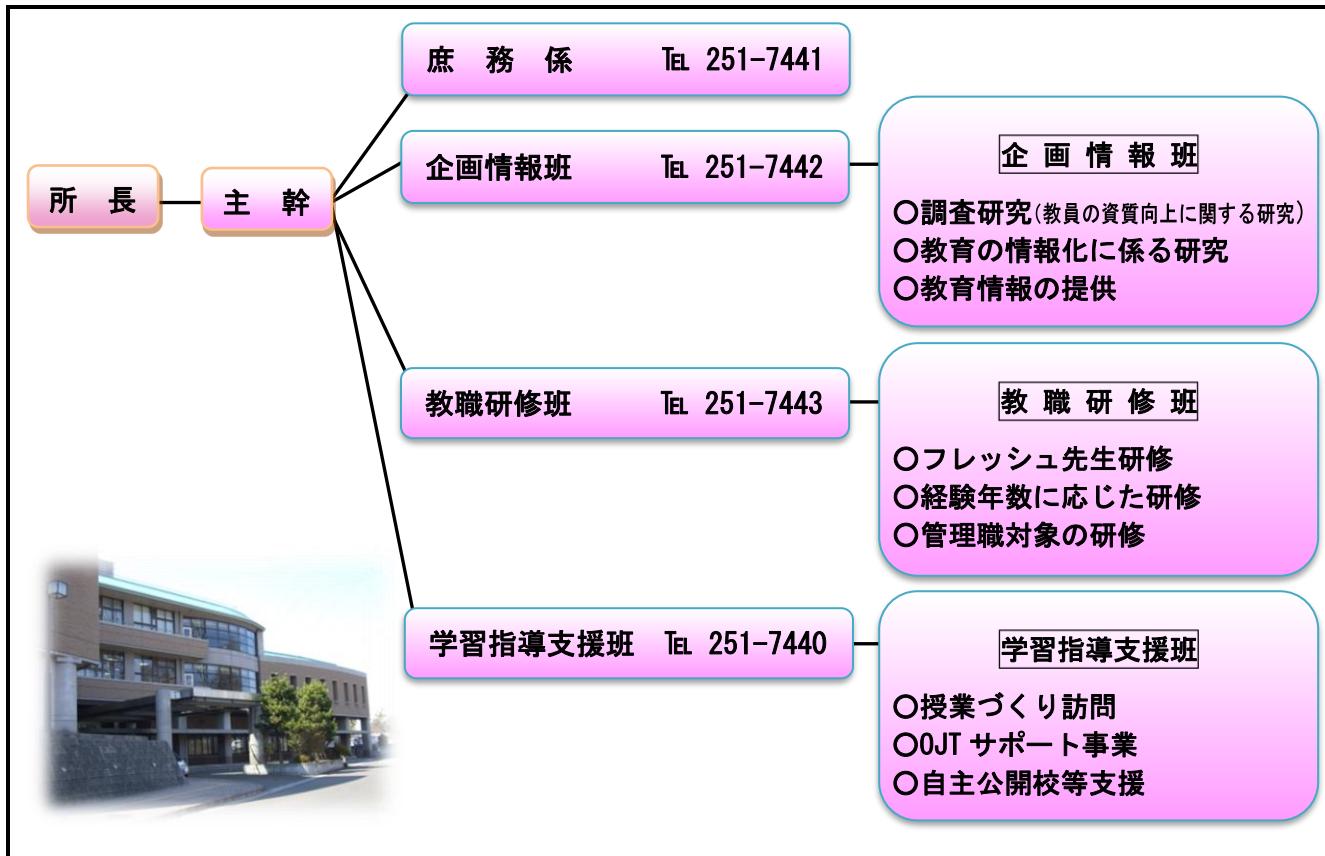
TEL(022)251-7441 FAX(022)251-7486

Web ページ <https://www.sendai-c.ed.jp>
代表 E-mail info-web@sendai-c.ed.jp

のことです。仙台市では、今年度は①市教委が主催する研修②大学院で履修した課程③免許法認定講習④市教委による派遣研修の4つを研修履歴の対象としています。研修履歴を作成する目的は、これまでの指導経験や研修から教員としての成長を客観視できるようにし、今後の主体的な学びに生かすことです。現在、研修履歴のシステム構築に取り組んでおりますが、整い次第、改めてお知らせいたします。

さて、教員免許更新制度が発展的に解消された背景について述べましたが、私自身、変化に対応することは得意な方ではありません。人間の遺伝子が、生活環境に適応して変化するのに千年かかるという話を本で読んだ時は、私の脳のつくりは平安時代頃の社会に適応したものということになるから、2007年頃に始まった急速な変化に対応し切れないのは仕方ないと自分を慰めました。自分がこれまで積み重ねてきたものへの誇りや自尊心も、新たなものを受け入れることへの抵抗になります。それでも、教員は社会の変化に応じて学び続ける柔軟性が求められますから、「変化が苦手」ということを素直に自覚した上で、新しいものに好奇心を持ち、これまでの経験と融合させた先にはどんな素晴らしい世界が広がっているのだろうとワクワクした気持ちを持つよう意識する、そんな心掛けが必要ではないかと思うのです。主体的に学ぶ教員に支えられた子どもは、主体的に学びに向かい、他者と対話しながら考えを広げ、学びを深めていきます。こうした学びを積み重ねて大人になったとき、変化の著しい社会の中で困難に直面しても、誰かのせいにしたり投げ出したりせず、自ら思考して解決策を見付け、自分の決断に責任を持って歩み、充実した人生を送ることにつながっていくのではないでしょうか。

私たち教育センターは、教職員の皆様と児童生徒の主体的な学びをお手伝いするために、「研修」「研究」「訪問」「学校支援」の4つを柱に取り組んで参ります。また、若手から充実・発展期まで、全ての層の教職員を支援するために、OJTサポート、ICT活用サポートの他、学校経営相談、教職員相談、若手教員支援を進めてまいります。教職員の皆様に寄り添う教育センターを目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。



教育センターの四つの事業

実践的指導力・学校運営力の向上

専門性の追求

訪問

授業力の向上、校内研究の推進を支える訪問

自己改革

OJTとは (On-the-Job Training)
職務遂行等に必要な力量の育成を図るための校内における研修並びに同僚間による学び合いや教え合い

学校OJT

たくましい精神力
豊かな人間性
確かな指導力

研修

キャリアステージやニーズに応じた研修

Off JT

学校支援

教育情報の提供、学校のニーズに応じた支援

関係機関との連携

研究

教育課程、教育課題、教育の情報化に係る研究

環境整備

Off JTとは

(Off-the-Job Training)
職務遂行等に必要な力量の形成を図るための校外における研修

【 I 研修事業 】 キャリアステージやニーズに応じた研修

1 基本的な研修

- ① 〈基本的な研修1〉は、経験年数に応じた研修です。キャリアステージに応じた教員としての基盤に立ち、実践的指導力と学校運営力を身に付けた人材を育成する研修を推進します。
- ② 〈基本的な研修2〉は、主に管理職を対象とした研修です。世代交代の加速化に伴う、学校運営及び学校経営に携わる人材の育成及び管理職の力量育成を図ります。
- ③ 〈基本的な研修3〉は、校務分掌・学校代表者による職能に応じた研修です。「教科指導員研修」を始め、「研究主任研修」「防災主任研修」等を実施しています。

2 授業づくり研修

- ① 〈授業づくり研修1〉は、授業づくりに係る基礎的・基本的な研修です。
- ② 〈授業づくり研修2〉は、小中高のつながりやスキルアップを意識した研修です。

3 トピック研修

仙台市の課題や施策等に係る研修です。

4 機関研修

教育関連機関における実習や演習を通した研修です。

5 発表会、協議会、説明会

- ① 〈教育センター研究発表会・説明会〉は、調査研究委員会の調査研究及び教育の情報化研究委員会（校務情報化、ICT活用、情報教育、プログラミング教育）の実践研究を発表します。
- ② 〈教育課題研究発表会〉は、教職員・児童生徒・保護者の、学校・家庭・地域社会における教育実践・学習成果等の研究発表を通して、教育課題の解決に役立てます。
- ③ 〈教育課程研究協議会〉は、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実践についての研究協議を通して、教員の実践的指導力の向上を図ります。

6 長期研修

今日的教育課題の研究を通して、教科・領域における実践的指導力の向上を図るとともに、学校の中核的な役割を担うミドルリーダーとしての資質能力の向上を図ります。

【 II 訪問事業 】 授業力の向上、校内研究の推進を支える訪問

1 授業づくり訪問

校内研究推進に係る授業づくりに関わり、授業力の向上及び校内研究の推進を支援します。

2 OJTサポート事業

児童生徒の教育活動に係る諸課題について、各学校、学年、個人からの要請に応え、学校を支援します。サポート内容については、「センター研修2023」を参照いただきか、直接、電話でお問い合わせください。

- ①校内研究サポート
- ②授業力向上サポート
- ③学級づくりサポート
- ④情報活用サポート
- ⑤学校事務職員サポート
- ⑥Cサポート（コンシェルジュサポート）

3 自主公開校等支援

自主公開校等の訪問を通して、各学校が取り組んでいる校内研究を継続的に支援します。また、公開等に関する情報を幅広く発信します。

【Ⅲ 研究事業】 教育課程、教育課題、教育の情報化に係る研究

1 調査研究

仙台市教育委員会の方針・重点施策に関連した学校教育上の当面する課題を重点的に取り上げ、調査研究を行います。

2 教育の情報化に係る研究

情報教育、プログラミング教育、学校情報化、情報モラル、情報セキュリティについて、仙台市立学校における教育の情報化を推進し、教育情報の有効活用と教育活動の質的改善を図るために実践研究を行います。



3 事業測定

教育センター事業の充実を図るために、研修受講後のアンケート等による研修評価を行います。

【Ⅳ 学校支援事業】 教育情報の提供、学校のニーズに応じた支援

1 仙台市小学校理科学習アシスタント事業

仙台市内の希望する小学校4、5、6年生の理科の授業へ理科学習アシスタントを配置し、理科の授業における観察・実験の充実を図ります。

2 仙台版スタンダードカリキュラム

学習指導要領の趣旨および本市で推進している副読本の活用、情報活用能力、たく生き授業等を踏まえたカリキュラム例を提示し、カリキュラムマネジメントの一助とします。

3 学校経営相談室

校長を対象に計画訪問相談、サポート訪問相談支援、来所や面談による相談を行い、円滑な学校経営の支援を行っています。

4 教職員相談支援室 「ほっ・お・）とスペース えがおで」

いじめ対応、学級経営、保護者対応など職務上の悩みを抱える教職員からの相談に対し、経験豊かな教員OBが助言・支援を行います。

5 若手教員支援室

学校や教員に求められる業務が多様化・複雑化する現状を踏まえ、常勤・非常勤講師を含めた若手教員の支援を行います。

6 教育情報の提供

カリキュラムセンターとしての機能を生かし、教育センターWebサイトや刊行物等で情報を提供するとともに、教育センター事業についての周知とセンター利用の促進を図ります。

- ・所報「郭公」
- ・教育センター通信「かっここう」
- ・仙台市立学校の学校要覧、研究紀要・学習指導案
- ・図書資料室の書籍

7 刊行物

- ・教育センター「要覧」
- ・「センター研修 2023」
- ・「仙台の自然」
- ・「仙台版防災教育副読本 3・11から未来へ」
- ・「わたしたちのまち仙台」
- ・教育研究紀要「教育はいま」
- ・教育の情報化研究委員会「活動報告書」
- ・「フレッシュ先生研修ガイドブック」等



【刊行物「仙台版防災教育副読本」】

小学校4・5・6年生用はWebBook配信

8 課題別研修支援事業

教職員が自主的・主体的に研修する活動に対し、情報提供や会場貸与等の支援を行います。

9 ICT機器や教材、備品等の物品の貸出